
風景描写

秋助

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

風景描写

【著者名】

NO351

秋助

【あらすじ】

自転車が壊れた『僕』は、久しぶりに我が街をゆっくり散歩することになります……

(前書き)

文芸部で書いた小説を載せてみました

ちなみに初投稿です

あー……ツイてねえな……。早寝したのに、寝坊するなんて。

「おっちゃん。自転車、直る？」

「こりやダメだな。完全にパンクしてやがる」

「そうつスか。じゃあ歩いて行くんで、学校終わりに取りに来ます

「おう。サボんじゃねーぞお」

へいへい、と軽く挨拶をして足取りを憂鬱へと向かわせる。

星占いが『乙女座のあなたは一日不運続きでしぇう。ラッキーアイテムは青色の自転車。意中の異性と急接近の大チャンス?!』なんて都合よく教えてくれるもんだから自転車にしたのに。結局のところ、当たったのは『ラッキー』じゃなくて『不運』の方だった。早足をすればギリギリ間に合つたが、そんな気分じゃないので、ゆっくりと道を歩く事にする。いつからかは忘れてしまったけど、家から学校までの三十分間を歩くなんて久しぶりだつた。

「あれ？ クリーニング屋になつてる。前は花屋だったのに……」いつもは風を切るスピードで通り過ぎて行くので、花はよく見えなかつたが、秋になれば金木犀の香りがして心地よかつた。

目の前を横切る白い猫。子供達の遊ぶ声。忘れ去られた本屋。見慣れた風景の中の見慣れぬ風景。足跡を刻む音。寂れた公園で時間を刻む針。僕の一秒を刻む町。一つ一つが不变的だと思っていたのは氣のせいだつたらしい。そう思つた。刹那、

「と、止まれえ！！」

「…………え？」

振り向くと青い物体が猛スピードで僕に近づいてくる。ギコギコギコギコギコ錆付いた車輪を回しながら。

ガシャアン……と。

勢いよく彼女にぶつかつた。そりや、もう『火花が飛び散る』と

いう以外どのように表現するのかつてくらいに。でもひらひらと力
スリ傷がある程度なところを見ると、そんなにスピードも出でない
し、そんなに激しく衝突していなかつたのかも知れない。

「お前……なんで学校近いのにチャリ通なんだよ」

仰向けになりながら、太陽反射により顔が見えない彼女を睨む。

「え、だつて私、乙女座じやない？」

言つて、僕に左手を差し伸べた。

「あー……なるほどな。乙女座ねえ」

全く。ツイでない。……あ、でも彼女に会えたからラッキーなのか？ 比喩としては正月と盆が一緒にきた……とは、ちょっと違つた。僕はゆつくりと彼女の左手を引いて身体を起こした。

「ほら、早くしないと数学のテストに間に合わないよー！」

「あれ、今日だけ？ テスト」

「うん、そだよ。先生が言つてたじゃん

「やつべ。何もしてねーわ……」

再び、じりんと仰向けになつて空を眺める。こんなにも綺麗なの
にな、空。

まあ、たまにはこんなのもアリなのかもと思えた。

(後書き)

今後もちょくちょく載せてこきます

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0351j/>

風景描写

2010年10月10日07時20分発行